



ご挨拶

いまだにコロナウイルスの「感染の危機」を脱していません。むしろこれからの冬場対応が課題になるとのことです。可能な努力は続けますが、利用者の方の中には、神経質・不安になって、体調を崩している方もあります。法人としての取り組みに関し、地域の「イベントの中止」によって、作業所製造の焼き菓子「クッキー」の販売先が減少したり、自主製品の販売機会がとどめられていることが課題です。利用者への工賃に影響します。そうした状況でも、予定を立てていた研修会や講演会は、三密を避けながら、換気も行って、実行していきます。このニュースレターも今回の6号で、満1年となります。引き続き当法人への、ご理解とご支援をお願いします。

☆相談支援事業「サポートセンターよつば」

「サポートセンターよつば」の事業は、主に障害のある方(児童も含む)の福祉サービス利用のための「サービス等利用計画」の作成を行うことです。現在2歳から70歳までの幅広い年齢層の方に利用していただいています。障害のある方(児童も)が、地域で自ら望む暮らしをしていくためには、どうすれば良いのかを、ご本人や家族の気持ちに寄り添いながら、一緒に考えていきます。

また障害の特性(身体・知的・精神・発達・難病・児童)に応じて、きめ細かく支援することを目指しています。相談を勧めていく中で、利用したい福祉サービスが決まれば、福祉サービス事業所への見学、体験も希望されれば同行します。相談しながら生活の目標を定め、サービス等利用計画を作成します。それを市町村に提出し、受給者証を取得したら、いよいよ福祉サービスの利用開始となります。私たち相談支援専門員の役割は、福祉サービス利用の決定時や、利用中の関係機関との調整も大切な役割です。

定期的なモニタリング(振り返りの時)で、感想などを聞きながら、ご本人の望んでおられる生活にマッチした福祉サービスの利用になっているかを、一緒に考えていきます。私たちは、障害者の方が福祉サービスを利用されることで、自分らしい、生き生きとした人生を送れるようお手伝いをしたいと思っています。

<利用者募集>

就労支援B型事業所「よつば工房・青い鳥」には、**現在定員の空きがあります**。見学や体験利用などの問い合わせを歓迎します。問い合わせは、

青い鳥が 04-7199-8119、よつば工房が 04-7133-3046 までお願いします。

☆体験談・千葉市在住インタビュー Fさん



① 病気を発症してから

中学3年生の春、受診したときの診断は、最初は「心因反応」ということでした。その後高校医が精神科の先生で、「うつ病」と診断して、治療を受けました。しばらく後「躁うつ病」と診断名が変わりました。振り返って一番つらかったのは高校時代、会話が右から左に抜けていく感じで、授業が全く分からず、結果成績はピリの状態でした。自宅に近いクリニックへ通院していましたが、26歳のころに磯ヶ谷病院に初めての入院をしました。その後13回に及び入退院を繰り返したのち、11年前に、現在住んでいるグループホーム「クローハウス」に入居しました。

② 支えになっている言葉

今も小学校時代の恩師の言葉が思い出されます。「寒かった年の春には、樹木が良く茂る。人は逆境に鍛えられて初めて生まれる」という言葉です。つらい時期はこの言葉に助けられて、乗り越えてきました。

③ 今の生活での楽しみ

今一番の楽しみは、サククスを吹くことです。もともと、楽器や音楽は苦手でした。サククスとの出会いは、23歳ごろの千葉大吹奏楽部の演奏会を聞いたことです。サククスの迫力ある、しかも柔らかい音に憧れました。磯ヶ谷病院のデイケアスタッフとの雑談の中で、サククスとリコーダーの指使いが似ていることを知り、リコーダーのプログラムから始めました。サククスは普通に吹いて

も音が出ません。コツはまだまだ分かりません。今のることが難しい病気だとつくづく感じています。サクスは2代目です。最初買ったサクスでどうただ、家の中では穏やかですので、その点は良かしても出ない音があり、先生から半分は楽器のせいだったと思います。気が向けばふらっと外出もしまもしれないと言われました。楽器店で試し吹きをして、す。病院で知り合った数少ない友達とも電話した出したいと願っていた音が出たときの感激は、は今でり、食事をしたりしています。ただ仕事だけが続も忘れません。これからは「ルパン三世のテーマ」きません。私たちも無理をして、「仕事をしなさを吹けるようになることが目標です。しかしとても難しい」とは言わなくなりました。

しい曲です。好きな曲は、オードリー・ヘップバーン ④ 今振り返って思うこと

主演映画の主題曲「ムーン・リバー」です。

今の一番の心配は、私たち親が働けなくなったり、

最後に病気の皆さんに一言送ります。「今はつらく死んだときに誰が息子の相談に乗ってくれるのかとても、きっとよくなる日が来るから、みんな諦めないということ。兄弟はいますが、それぞれに暮で欲しい」ということです。



らしをしていますので充てにはしたくありません。息子自身が、行政の人や福祉の職員と繋がってくれと安心ですので、このことを話しています。本当はグループポップホームに入ってくれればと思いますが、今のところ関心はないようです。気長に待つし

☆家族の想い・流山市のGさん（インタビュー）

①子どもが発症した頃のこと

私たちの子どもが発症したのは、高校生の時ですかさそうです。

おとなしい子どもでしたが、「学校に行きたくない」

と言い出しました。友達の輪に入らず、一人ぼっち

☆精神障害者家族会よつば会 定例会の紹介

だったとあとで話してくれました。無理矢理に学校に

（問い合わせ 04-7199-3645）

行かせようとする、暴言を吐いたり、部屋に閉とじ<柏部会>

こもってしまいました。そのうち「眠れない」「イラ

イラする」が始まり、説得して保健所に相談に行きま

した。専門家に診察を受けることを勧められ、精神科<我孫子部会>

に受診しました。最初、診断名はつけられませんが、

たが、しばらくして別の先生に担当が代わり、統合失

調症と言われたのはショックでした。それから薬が変<流山部会>

わり量も増えて、本人も私たちも薬に対する不信感が

増しました。この頃から薬の勉強を始めました。

・9月25日金曜 10時から

・初石公民館・会義室にて



②夫婦の対応がうまくいかず、それもストレス

子どものことで、私たち夫婦の間でトラブルが増え

ました。主人は息子と距離を取り、いつも叱っていま

★発達障害に関する講演会

した。精神障害についての勉強会が、病院で開かれて

日時 9月12日（土曜）10時～12時

も参加しません。私は後によつば家族会に参加しまし

会場 流山市・初石公民館2階ホール

たが、主人は嫌がりました。それが私に

テーマ 「発達障害って何だろう」

はストレスでした。子どものことを協力して向き合い

講師 肥田クリニック 肥田 裕久先生

たいと願っていましたが、主人は避けました。そのう

申し込み先 大山 090-7226-4486

ちに諦めましたが、やっと最近では息子に声をかけるよ

三尾谷 090-3426-1813

うになりました。もう少し早ければ、家族がもめなく

事前予約制・定員50名・先着順

て済んだのにと、主人に苦情を言いましたが、もっと

費用は無料ですが、事前の申し込みが必要です。

早ければ、子どもも助かったと思います。

どうぞお出かけください。

④ 子どもの状態は一進一退

子どもは何とか高校は卒業しました。しかし、そ

のあとは病院のデイケアもB型作業所も中途半端

になり、続けることが出来ませんでした。地域活動

支支援センターⅢ型も行きましたが、人間関係で疲

れると言って、中途半端でした。この病気は、続け